

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	平成29年度 首里城地区発掘調査関連資料整理及び報告書作成業務
業 務 概 要	首里城復元整備に伴う発掘調査に基づき資料整理及び報告書作成
契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	分任支出負担行為担当官 沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所長 戸田 克稔 沖縄県国頭郡本部町字石川424番地
契 約 年 月 日	平成29年 4月26日
契 約 業 者 名	沖縄県知事
契 約 業 者 の 住 所	沖縄県那覇市泉崎1-2-2
契 約 金 額	40,000,000円 (税込み)
予 定 価 格	40,000,000円 (税込み)
随意契約によることとした理由	別紙のとおり
業 務 場 所	沖縄総合事務局 国営沖縄記念公園事務所首里出張所
業 種 区 分	その他業務
履 行 期 間 (自)	平成 29年 4月 27日
履 行 期 間 (至)	平成 30年 3月 30日
備 考	

随意契約理由書

1. 業 務 名 平成29年度 首里城地区発掘調査関連資料整理及び報告書作成業務
2. 履 行 場 所 沖縄県那覇市首里当蔵町3丁目1番地
3. 契約の相手方 沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号
沖縄県知事
4. 随意契約適用法令 会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号
5. 当該業務の目的・内容及び随意契約の理由

(1) 目的・内容

本業務は、首里城復元整備に伴う発掘調査に基づき資料整理及び報告書の作成を行うものである。

当該地区は、15世紀～19世紀後半まで琉球王国の王府「首里城」があり、これまでの調査で城の中心であった正殿をはじめ京の内等で重要な遺構、遺物が確認されている。また、首里城跡は平成12年12月2日に世界遺産に登録され、沖縄の歴史を語る上で重要な遺跡である。

首里城復元整備にあたり、根拠資料となる遺跡及び遺物の調査・分析・検討をし、資料整理を行い、首里城の歴史・文化、復元根拠を理解する資料として活用する為に報告書を作成する必要がある。

(2) 理由

本業務の遂行にあたっては、首里城の歴史・文化や文化財保存を熟知していると共に発掘調査、遺物調査及び資料整理について専門的且つ高度な知識と豊富な経験を有している事が必要である。

本業務の対象となる資料整理及び報告書作成は、沖縄県教育委員会が過年度に発掘調査を行った範囲（平成7～9年度調査、京の内地区、平成24～25年度調査、東のアザナ北地区、平成26年度調査、経世門北地区）であり、発掘調査で出土した遺物は沖縄県教育委員会の沖縄県立埋蔵文化財センターにて保存され継続して分析が進められている。

首里城地区においては、沖縄県教育委員会が日本復帰直後から現在まで継続的に発掘調査及び資料整理を行い、発掘調査の成果として報告書を作成している。また、文化財保護法や首里城の歴史・文化を熟知し、専門的且つ高度な知識と豊富な経験を兼ね備えており、適切な対応能力を備えた専門職員を確保している。

以上のことから、本業務を円滑且つ的確に遂行するためには唯一の契約相手と判断するものであり、このため、本業務は、会計法第29条の3第4項及び予決令第102条の4第3号により沖縄県と随意契約を行うものである。